

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	2	17	2		引き続き、ご本人と家族の意向を反映したケアプランを作成してください。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することとは重要であるといえます
[具体的な状況・取組内容] ケアプラン作成時利用者・家族と面談し、担当者会議で意向の確認を行い、プランに反映している。 面会に来られない方には電話での意向確認等を行っている。							
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能	17	3				✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> できることは継続し、できないところを見守りや支援する内容をプランに入れている。 日常生活の中でできることを継続している。				日常生活の中で機能が維持できていることは良いことだと思います。	た計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	5	15			介護と看護で情報共有ができていて、ケアプランにも反映されている。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 状況変化の予測は職員全体で情報を共有し、計画に反映されている。							
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	およそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	3	17			すぐ対応できていると思います。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 状態変化があった際は、申し送り時の検討し、その日のうちに変更し対応している。 伝達ノートに変更点を記載し、職員に情報共有している。							
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	19			訪問看護が入ることで、ご家族も安心だと思います。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご家族や利用者の意向に添いながら、利用していただいている。 訪問看護が入ることで安心して生活できている。							
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	19			主治医と連携を図ることで、安心して迅速な対応ができています。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	18	2			各職種が協力し、柔軟に対応されていると思います。	✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情	19	1			情報共有ができており、よりよいサービスが提供されて	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有し対応策を検討する など、両職種間の連携が 行われている	[具体的な状況・取組内容] 毎日の申し送り、毎月のカンファレンス、 サービス担当者会議等で情報共有し、迅 速かつ柔軟な対応をしている。				いると思います。	足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	18	2			看護職員から情報や指導が あると介護職員も安心して 業務にあたることができる と思います。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介 護職への情報提供や提案等」につ いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
④利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく	15	5			できるだけわかりやすく説 明してもらうことで、安心で	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 家族・利用者に契約の際等で、説明している。 プランの内容等も細かく説明し同意を得ている。				きると思います。	
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	15	5			ご利用者やご家族に丁寧に説明していると思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 管理者・看護師・ケアマネより具体的に理解できるように説明し、同意を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	14			わかるまで丁寧に説明してください。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療機器の取り扱い方法等は、ゆっくりとわかりやすく理解できるまで説明している。 疾病の病状説明、経過等を説明している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	15	5			意向に添いながら、サービスを提供することができていると思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ご家族の意向を伺い、プランに反映している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	15	5			家族にとって看取りまでしてもらえるのは、とてもありがたいと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 重度化した場合や終末期については、ご本人・ご家族の意向をお聞きし、予後及び看取りまでの話をしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	20				主治医から病状説明してもらうことで、職員やご家族様も安心できると思います。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] 訪問看護やケアマネから看取りケアについて詳しく説明し、看取りの同意書を交わしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		主治医からも病状説明等を行ってもらっている。					
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	10	10			家族は病院と連携を図ってもらうことで安心すると思います。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主	2	18				✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	治医等と相談・共有することができている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 緊急時は訪問看護を窓口とし、主治医と連携を図っている。 ご家族様の意向の確認を行い、主治医へ報告し、情報共有している。				緊急時の対応が決まっていると本人、家族も安心できると思います。	✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	15	5			緊急時の対応が決まっていると安心します。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 24 時間対応可能な状況にあり、夜間も看護師へオンコールでき、主治医へ連絡したりできる体制になっている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考え		10	10			✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	られる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 民生委員からは会議での意見や情報や地域で利用できる資源の情報をいただいている。 地域包括支援センターが会議に参加されておらず、地域包括支援センターからの情報がない。					一マルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		16	4		記録がみれると情報共有できてよいと思います。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 議事録を作成しており、記録は誰でもみることができるようになっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について			5	15	ももりん体操がまた、できるようになるとうれしいです。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です